



2017年12月18日
神島化学工業株式会社
代表取締役社長 池田和夫
(証券コード:4026)

2018年4月期 第2四半期 決算説明資料

～決算概要～



I	中期経営計画（抜粋）	2	III	2018年4月期 業績予想	18
	1. 計画概要	3		1. 業績予想	19
	2. 業績計画	4		2. 下期の取組み	20
	3. 化成品事業	5			
	4. 窯業系建材事業	7			
II	2018年4月期 第2四半期 業績	9	IV	株主還元	22
	1. 業績概要	10		1. 株主還元	23
	2. 営業利益分析	11			
	3. セグメント別業績	12	V	補足資料	24
	4. 財政状態	16		1. 当社について	25
	5. キャッシュ・フローの状況	17		2. テクニカルセンター建設予定	36
				3. 環境への取組み	37

注意事項

本資料には、神島化学工業の業績に関して、歴史的事実および将来の見通しが含まれています。これらの見通しは将来の業績を完全に見通したものであるとは限らず、将来の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素が含まれており、実際の業績は様々な要素によりこれらの見通しとは異なることがあります。



©2017 Konoshima Chemical Co., Ltd.

100年の歩み、100年の挑戦

I 中期経営計画（抜粋）



・中期的な事業環境認識

国内住宅建材業界は、中期的には、少子高齢化と人口減少により縮小傾向

・中期の経営戦略

(1) 基本方針

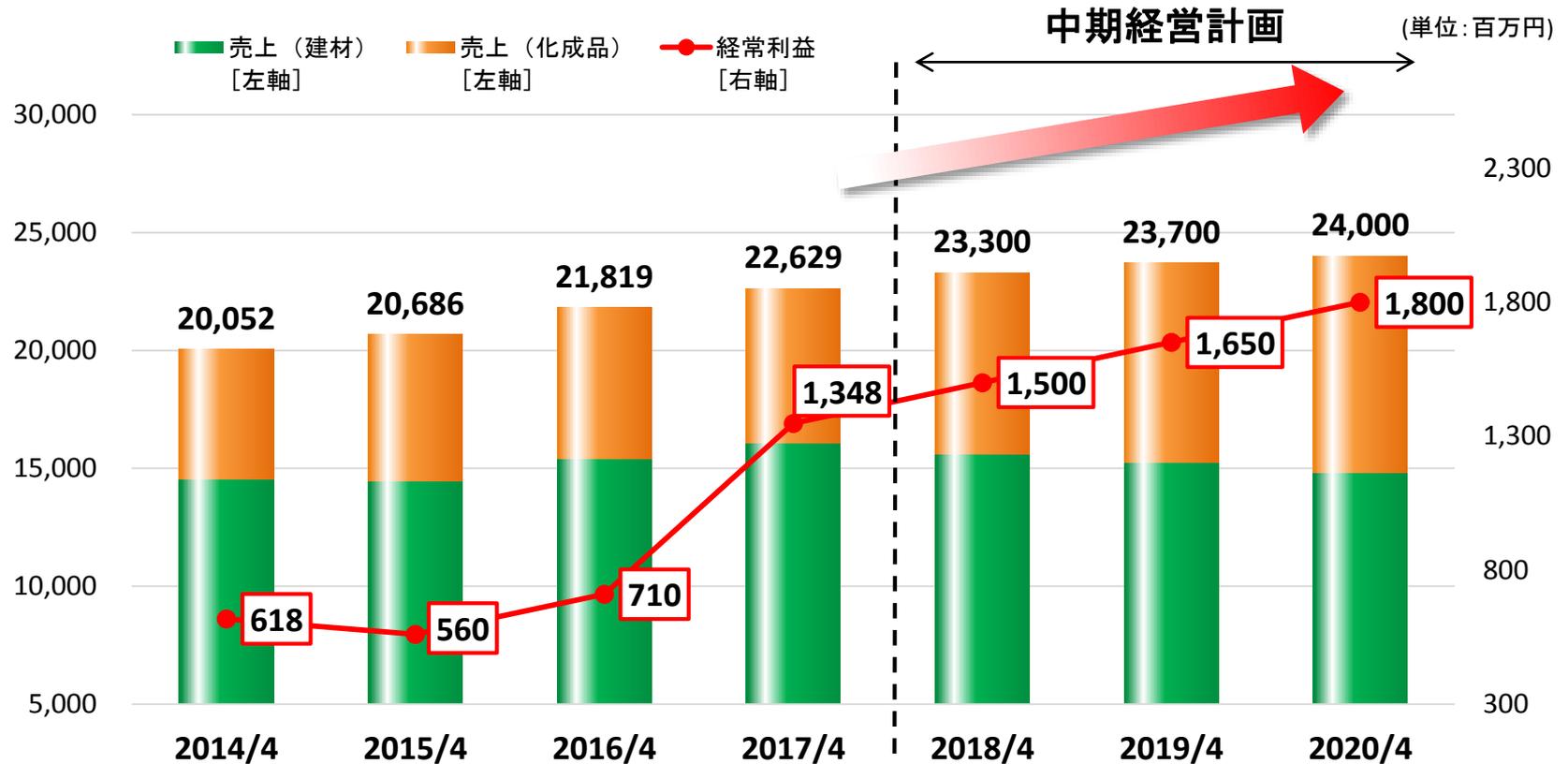
成熟産業である「住宅分野」から、現有事業の成長産業である「化成品（マグネシウム）分野」への事業転換、及びアーリーステージの「セラミックス分野」の育成

(2) 基本戦略

- ① 建材事業から化成品事業への業態変換
- ② セラミックス事業の本格的事業化
- ③ 住宅から非住宅へのエネルギーシフト
- ④ 住宅分野は、高級化路線

I-2.業績計画

Konoshima Chemical Co., Ltd.



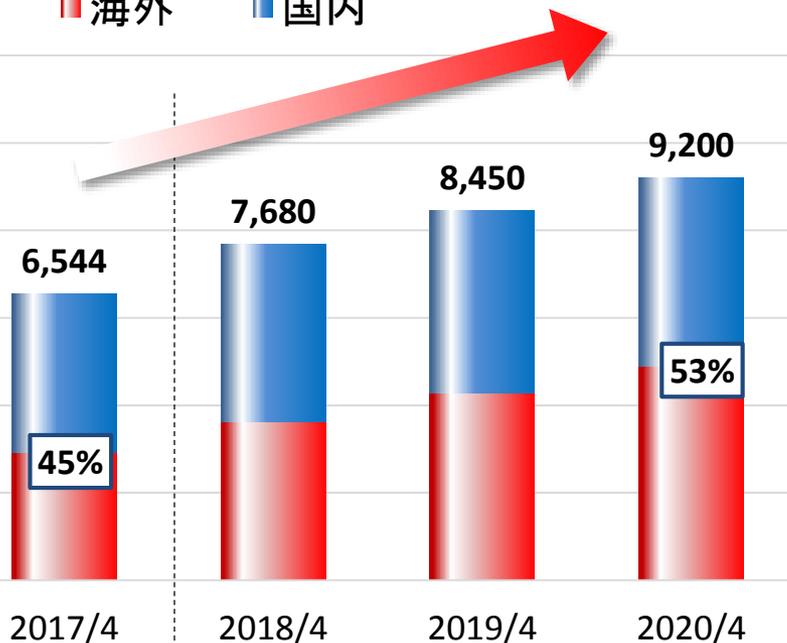
経常利益率	3.1%	2.7%	3.3%	6.0%	6.4%	7.0%	7.5%
自己資本比率	26.6%	28.3%	29.1%	33.5%	36.7%	39%	42%
総資産	17,974	18,253	18,936	19,217	19,874	21,000	22,000
純資産	4,495	5,159	5,515	6,446	7,299	8,270	9,270
設備投資額	553	1,097	1,423	1,646	2,072	2,000	2,000
研究開発費	515	549	623	690	710	720	730

①化成品事業(マグネシウム)は引続き当社の成長エンジン

化成品事業売上

(単位:百万円)

■ 海外 ■ 国内



29%

33%

36%

38%

化成品比率

《 中期計画の概要 》

- ・ 今後3年間で売上4割増を計画
- ・ 化成品事業部門売上高比率も引き続き約10%アップ
- ・ 海外売上高比率も50%超目標に



②セラミックス事業の本格的事業化

研究開発段階



本格的事業化



大量生産体制の構築を展望

YAGセラミックス

Yttrium Aluminium Garnet (イットリウム・アルミニウム・ガーネット)

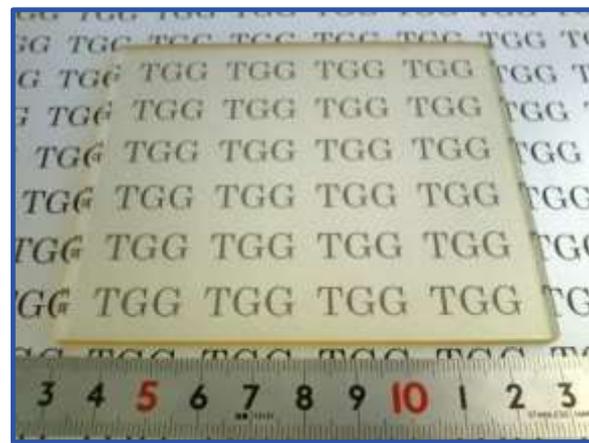
近年大型セラミックス使用の大出力レーザー開発が活発化。
開発拠点の増加、高出力化による使用量の拡大



TGGセラミックス

Terbium Gallium Garnet (テルビウム・ガリウム・ガーネット)

レーザー装置の安定動作には反射光防止装置が必須。
低出力ファイバーレーザー用から大口経による大出力レーザー
開拓

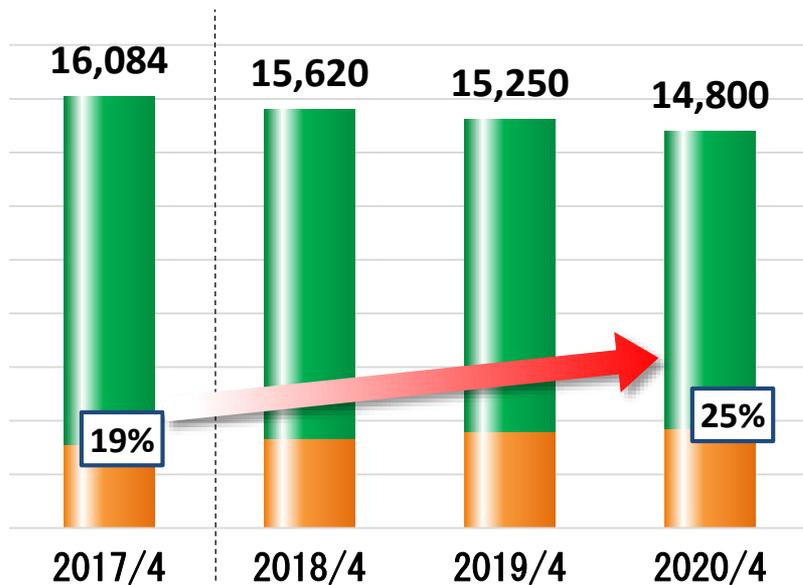


③住宅分野から非住宅分野（公共・商業施設等）へ転換

窯業系建材事業売上

■住宅 ■非住宅

(単位:百万円)



19%	21%	23%	25%
非住宅比率			

《 中期計画の概要 》

- ・ 非住宅比率は、実額ベースでの拡大を企図
- ・ 独占的シェアを有する耐火パネルのオリンピック関連需要の取り込み
- ・ 譲受したラムダ事業（非住宅）の当社既存建材部門とのシナジー効果の発現
 - － 既存顧客へのラムダ製品拡販
 - － 技術交流による新商品開発（遮音板等）



④住宅分野は、高級化路線

- ・ 防火サイディング事業は、18mm厚の高級品「ドレッセプレミアム」に集中
⇒ 高級市場内でのシェアアップ
- ・ 強みの軒天ボード・破風板も、高級品（ラフォーレティンバー・ラフォーレグレイス）に注力
⇒ 特に高級軒天ボードは、市場への認知の高まりにより急伸
- ・ 内装化粧ボード（シェルテ）は、厚さ3mm市場に新規参入し、新流通経路による拡販





©2017 Konoshima Chemical Co., Ltd.

100年の歩み、100年の挑戦

Ⅱ 2018年4月期 第2四半期 業績



Ⅱ-1.業績概要

Konoshima Chemical Co., Ltd.

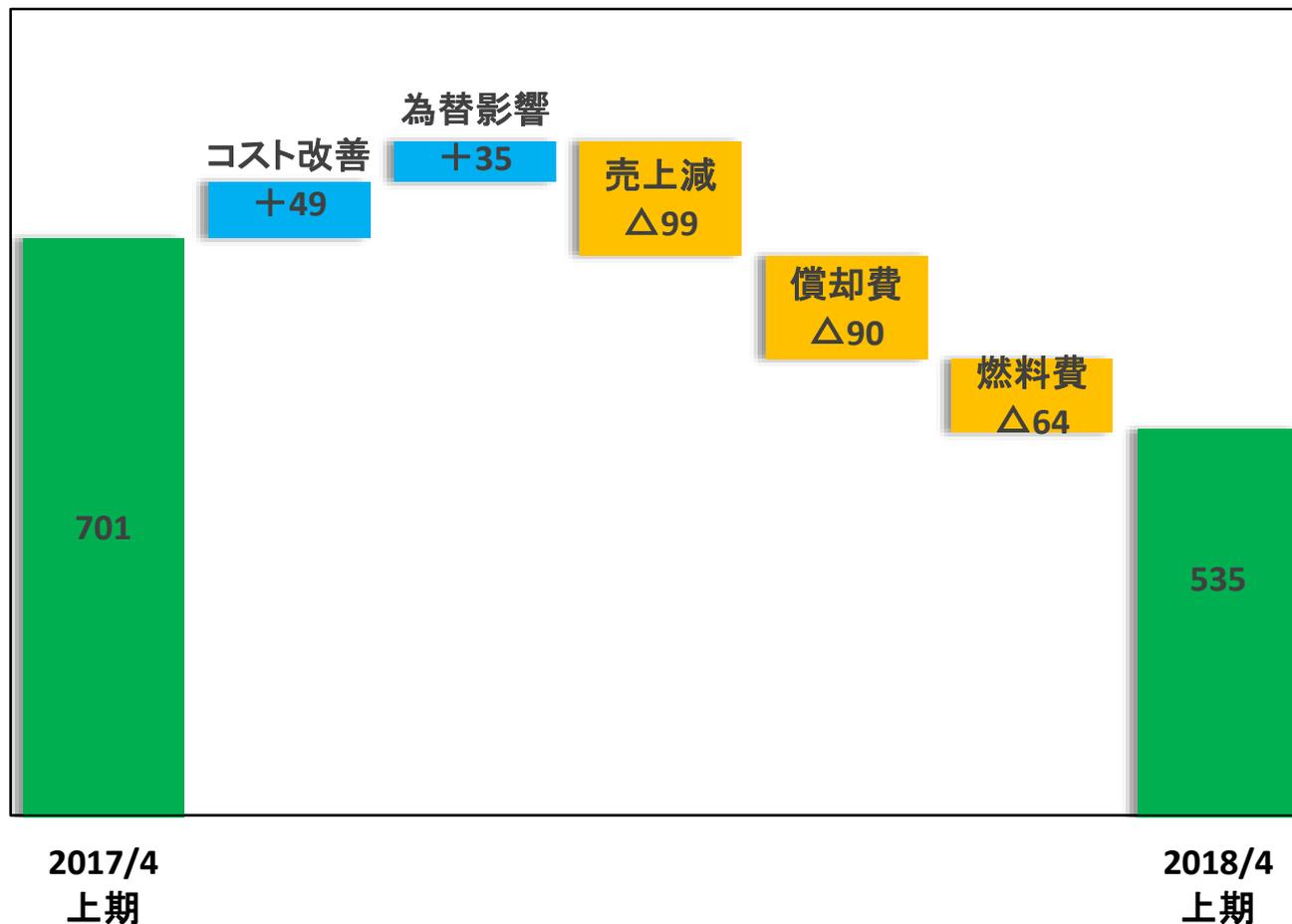
(単位:百万円)

	2017/4期 上期	2018/4期 上期	前期同期比		当初予想 [2017.6.12]	当初予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	増減率
売上高	10,964	10,679	△284	△2.6%	11,210	△530	△4.7%
建材	7,907	7,319	△588	△7.4%	7,570	△250	△3.3%
化成品	3,057	3,360	+303	+9.9%	3,640	△279	△7.7%
売上総利益	3,332	3,047	△284	△8.5%	—	—	—
営業利益	701	535	△165	△23.6%	770	△234	△30.4%
経常利益	661	500	△161	△24.4%	730	△229	△31.5%
(経常利益率)	6.0%	4.7%	—	—	6.5%	—	—
特別損失	8	191	+183	—	—	—	—
四半期純利益	533	221	△312	△58.5%	540	△318	△58.9%
減価償却費	397	489	+91	+23.0%	500	△10	△2.1%

- ◇ 住宅市場は、特に後半、貸家、持家ともに減少傾向であり、やや低調に推移
- ◇ 売上高は、化成品事業は増産設備稼働により内・外ともに増収も、建材事業が前期末の詫間工場火災影響、一部非住宅の建築労働者不足による物件の後倒しにより、トータルで若干の減収
- ◇ 尚、当初予想比では、化成品の海外拡販進捗遅れ、建材の非住宅下振れから、売上、利益ともに未達
- ◇ 特別損失の発生

営業利益の増減要因(対前年同期比)

(単位:百万円)



- ◇ 営業利益は、製造部門等のコスト改善にもかかわらず、売上減、償却費負担増、燃料費アップ等により減益

Ⅱ-3.セグメント別業績【全体ベース】

Konoshima Chemical Co., Ltd.

(単位:百万円)

	2017/4期 上期	2018/4期 上期	前年同期比	
			増減金額	増減率
売上高	10,964	10,679	△284	△2.6%
建材	7,907	7,319	△588	△7.4%
化成品	3,057	3,360	+303	+9.9%
セグメント利益	997	825	△172	△17.3%
建材	396	123	△273	△68.8%
化成品	601	701	+100	+16.8%
調整額	△296	△289	+6	—
営業利益	701	535	△165	△23.6%

Ⅱ-3.セグメント別業績【窯業系建材事業】

Konoshima Chemical Co., Ltd.

(単位:百万円)

	2017/4期 上期	2018/4期 上期	前年同期比		当初予想 [2017.6.12]	当初予想比	
			増減金額	増減率		増減金額	増減率
売上高	7,907	7,319	△588	△7.4%	7,570	△250	△3.3%
住宅売上高	6,438	6,114	△323	△5.0%	6,010	+104	+1.7%
内 高級軒天ボード	540	696	+156	+28.9%	—	—	—
非住宅売上高	1,469	1,205	△264	△18.0%	1,560	△354	△22.8%
(非住宅売上高比率)	18.6%	16.5%	—	—	20.6%	—	—
セグメント利益	396	123	△273	△68.8%	360	△236	△65.6%

- ◇ 前期末の詫間工場火災により、住宅用で約1億5千万円の売上減
- ◇ 住宅用高級軒天ボード(ラフォーレティンバー) は、大幅増収
- ◇ 非住宅の耐火パネルは、建築労働者不足による一部大型物件の後倒しにより減収
- ◇ セグメント利益は、売上減少、燃料の上昇等により減益
- ◇ 尚、当初予想比では、住宅売上高が軒天ボードの好調により予想比を上回るものの、非住宅の耐火パネル下振れなどにより未達

〈実績比較〉

(単位:百万円)

	2017/4期 上期	2018/4期 上期	前年同期比	
			増減金額	増減率
売上高	3,057	3,360	+303	+9.9%
内 海外売上高	1,359	1,518	+158	+11.6%
(海外比率)	44.5%	45.2%	—	—
セグメント利益	601	701	+100	+16.8%

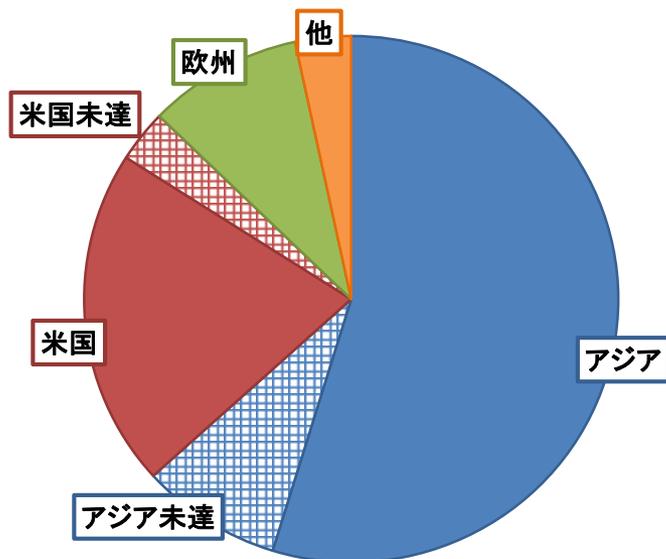
- ◇ 売上高は、米国向け医薬食添用酸化マグネシウムを中心に前年同期比1割増収
→輸出全体も増加し、海外比率も上昇
- ◇ セグメント利益も、償却負担の増加はあったが、増収効果及びコスト改善により増益

〈予想比較〉

(単位:百万円)

	2018/4期 上期		当初予想比	
	当初予想	実績	増減金額	増減率
売上高	3,640	3,360	△279	△7.7%
内 海外売上高	※グラフ 1,720	1,518	△201	△11.7%
(海外比率)	47.3%	45.2%	—	—
セグメント利益	740	701	△38	△5.2%

※予想海外売上高 (網掛けは未達部分)



海外売上高の予想との差異について

◇アジアは一時的に予想比未達

- ・ 環境規制強化により、販売ターゲット先の化学企業生産低下
 - ・ 難燃水酸化マグネシウム値上げの反動
- 下期は回復見込み

◇米国は予想比やや未達

- ・ 酸化マグネシウムの拡販遅れ
- ユーザー直接訪問を増やして、実績化のスピードアップを目指す

(単位:百万円)

	2017/4期 期末	2018/4期 上期末	前期末比	
現金及び預金	938	789	△148	
売上債権	4,666	4,145	△520	休日要因 △235
棚卸資産	3,969	4,486	+517	
建物、機械装置、建仮	5,932	6,017	+85	
資産計	19,217	19,285	+67	
仕入債務	3,467	2,865	△602	休日要因 △720
借入金	4,884	5,623	+739	
負債計	12,771	12,623	△148	
純資産計	6,446	6,662	+215	
負債・純資産計	19,217	19,285	+67	
(自己資本比率)	33.5%	34.5%	—	



©2017 Konoshima Chemical Co., Ltd.

100年の歩み、100年の挑戦

Ⅲ 2018年4月期 業績予想



Ⅲ-1.業績予想

Konoshima Chemical Co., Ltd.

	A		B		B-A		C		B-C	
	2017/4期		2018/4期		前期比		2018/4期		予想比	
	実績	下期	修正予想	下期	増減金額	下期	当初予想	下期	増減金額	下期
売上高	22,629	11,664	21,850	11,170	△779	△494	23,300	12,090	△1,450	△919
建材	16,084	8,176	14,979	7,659	△1,105	△517	15,620	8,050	△641	△390
化成品	6,544	3,487	6,871	3,510	326	22	7,680	4,040	△809	△529
営業利益	1,433	732	900	364	△533	△368	1,580	810	△680	△445
経常利益 (経常利益率)	1,348 (6.0%)	686 (5.9%)	830 (3.8%)	329 (3.0%)	△518	△357	1,500 (6.4%)	770 (6.4%)	△670	△440
当期純利益	1,051	517	470	248	△581	△268	1,100	560	△630	△311
減価償却費	882	484	1,002	512	119	27	1,030	530	△28	△17

(2017年11月30日 発表)

(単位:百万円)

- ◇ 前期比では、化成品の伸びを見込むが、建材は当初から見込んでいた減収に加え、非住宅の建築労働者不足による物件後倒しにより減益予想
- ◇ 通期予想は、上期の実績を踏まえた売上高、コストアップを織り込み、下方修正
- ◇ 尚、予想比では、特に化成品が当初予想を下回る見込みであることから、売上、利益ともに下方修正

《 非住宅分野 》

- ◇ パネル事業は、下期に本格的需要拡大の見込み
- ◇ 事業譲受したラムダ事業の体制整備
 - ・ オリンピック関連需要の積極的取込み
 - ・ 技術交流による新商品である遮音板の拡販
 - ・ 一部代理店の統廃合を検討

《 住宅分野 》

- ◇ 高級軒天ボードの更なる拡販拡大→一方、一般軒天は採算性重視へ
- ◇ 高採算のプライケイカル拡販に注力
- ◇ 海外輸出の本格的取込み

◇ 営業体制等強化のための施策

- 商社依存からメーカーダイレクトマーケティング体制の強化
- 海外展開営業力強化→人員の増加
- 新機能商品の本格的事業展開
- 新技術開発の本格化→研究機関への人材派遣



©2017 Konoshima Chemical Co., Ltd.

100年の歩み、100年の挑戦

IV 株主還元



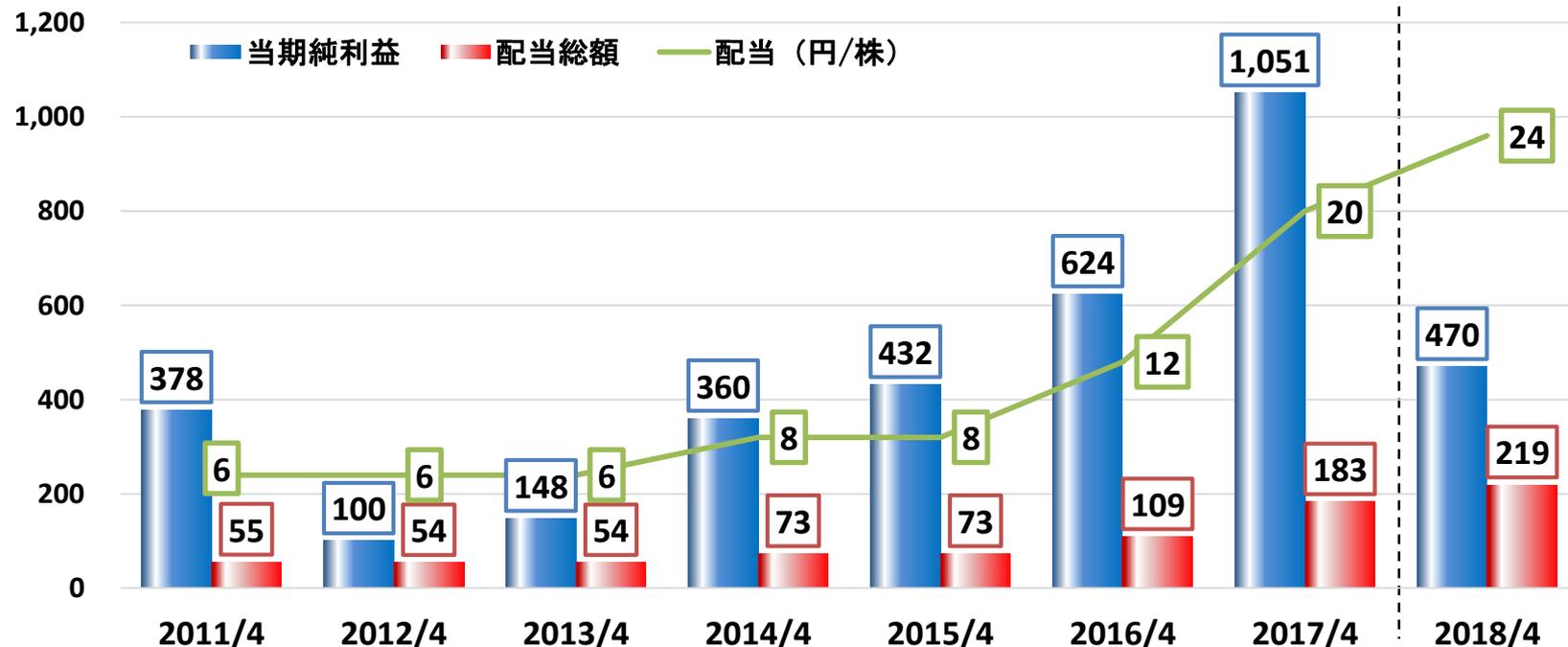
◆ 配当方針

- ・ 利益水準、配当性向及び内部留保の確保等を総合的勘案

◆ 配当予想

- ・ 2018年4月期は、創業100周年記念中間配当を実施（普通10円＋記念4円）
- ・ 年間配当は、当初予想の24円をキープ
- ・ 配当性向は、当期は一時的に高止まるが、3年後には25%へ

(単位:百万円)



配当性向	2011/4	2012/4	2013/4	2014/4	2015/4	2016/4	2017/4	2018/4
	14.5%	54.9%	37.1%	20.4%	16.9%	17.6%	17.4%	47.0%



©2017 Konoshima Chemical Co., Ltd.

100年の歩み、100年の挑戦

V 補足資料



経営の基本方針

無機化学の可能性を追求し

**「顧客満足を第一に考え、
より広く深く社会に貢献していく」**

創業 1917年6月

設立 1946年3月

資本金 13億20百万円

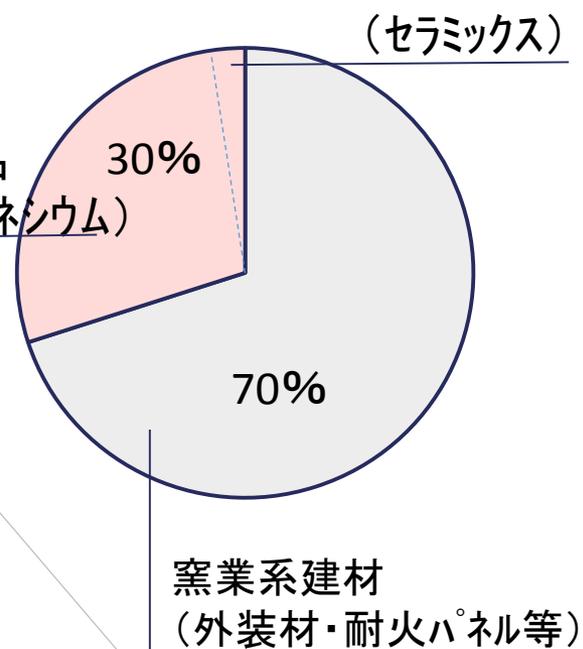
従業員 618名

売上高 226億29百万円（2017年4月期）

代表者 代表取締役社長 池田和夫

事業内容

化成品
(マグネシウム)



窯業系建材
(外装材・耐火パネル等)

設立

1946年

1917年

創業 (株)神島硫酸製造所
(後の神島人造肥料(株))



1949年

炭酸マグネシウムの製造を開始

1957年

酸化マグネシウムの製造を開始

けい酸カルシウム板の製造を開始

1972年



押出法による
DRESSEの製造開始

1984年



1989年

科学技術庁無機材質研究所との共同研究で
YAGの合成に成功 製品化に着手

硬質けい酸カルシウム化粧板
SCELTEの製造開始

1998年



事業譲渡を受け、
ラムダ事業を開始

2015年

2006年

難燃水酸化マグネシウムの製造開始

2017年

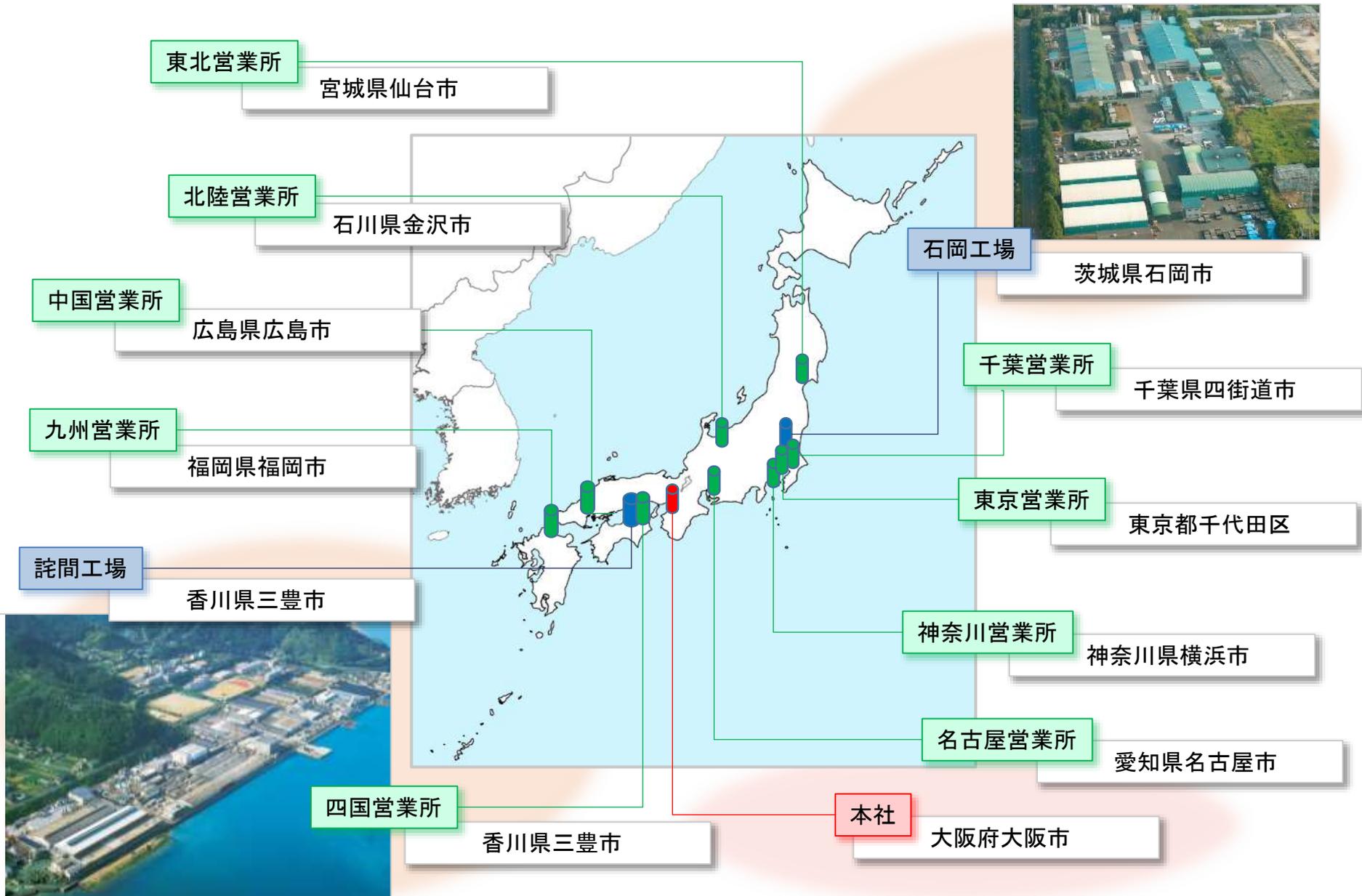
創業 100周年

現在



V-1.当社について【拠点】

Konoshima Chemical Co., Ltd.

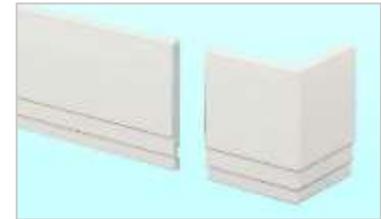


・住宅分野（外装）



不燃外部造作材（破風板）

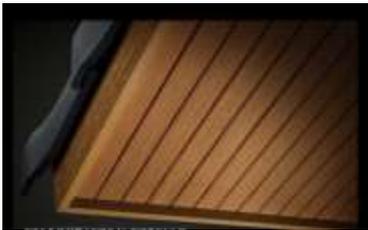
寒冷地域の凍害にも強い「押出製法」の外部造作材
GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



不燃軒天ボード

木目柄、布目柄など多彩なバリエーションの
軒天ボード

GOOD DESIGN AWARD 2015 受賞



防火サイディング

18mm厚以上に特化した深彫りで本物志向の高級外壁材
職人の高齢化に対応した省施工「プレカット」対応



・住宅分野（内装）

SCELTE
(シエルテ)



トイレ



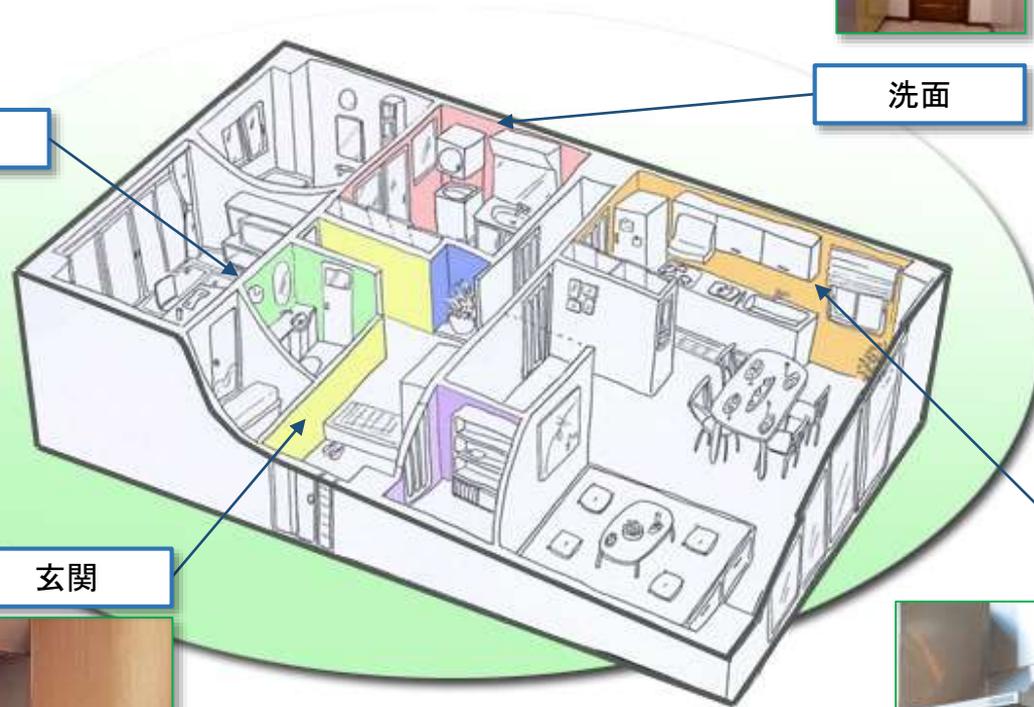
洗面



玄関



その他



キッチン



・非住宅分野(外装)

LAMBDA ラムダ

- ・ 高強度により、最高31mの中高層の建物にも対応
- ・ 塗装によりメタリックやパールの光沢感、コンクリートの風合



DRESSE PREMIUM
〈ドレッセプレミアム〉

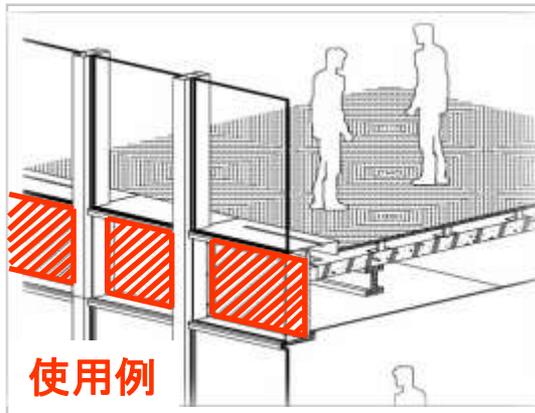
DRESSE
〈ドレッセ〉



・非住宅分野(外装)

ソニックライトパネルNAS

- ・中・高層ビルのカーテンウォール工法分野でシェア独占
国内最大サイズのパネルを完全プレカット



虎ノ門ヒルズ

(内装)



- ・表面の鏡面仕上げ、抗菌性の高い内装用化粧
パネル完全な『ゼロホルムアルデヒド』ボード

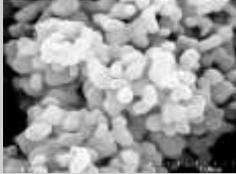




「海水法」により、「安価」で「安定供給」可能
粒子形状コントロール技術をマグネシウム化合物以外へ展開可能

使用用途例

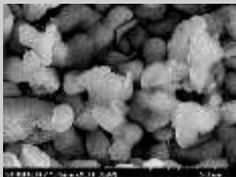
酸化マグネシウム
(スターマグ)



- ・プラスチック部品
- ・合成ゴム部品
- ・医薬用原薬、ミネラルサプリメント
- ・接着剤など



難燃水酸化マグネシウム
(マグシーズ)



- ・エコ電線被覆材
- ・自動車・家電用電線被覆材など



炭酸マグネシウム



- ・天然ゴム製品
- ・プラスチック部品
- ・塗料、飼料など



<海水法による製造工程の一例(酸化マグネシウム)>

海水



精製



反応



洗浄



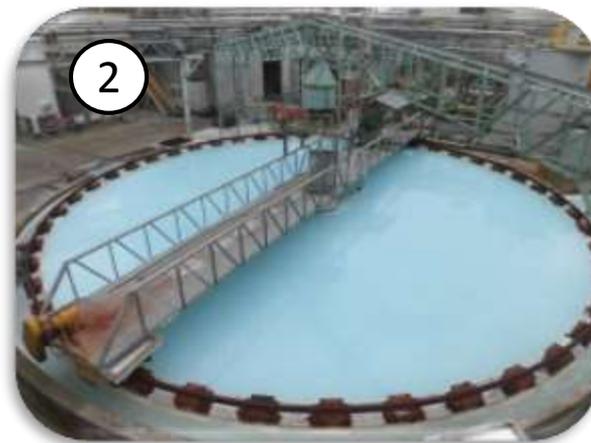
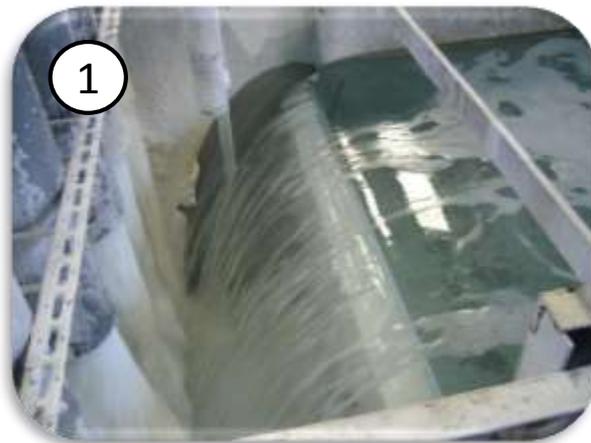
乾燥



焼成



製品



- ① 海水にアルカリを添加
[$\text{Mg}^{2+} + 2\text{OH}^- \Rightarrow \text{Mg}(\text{OH})_2$]
- ② 沈降分離槽で沈殿を回収
- ③ キルンで焼成
[$\text{Mg}(\text{OH})_2 + \text{熱エネルギー} \Rightarrow \text{MgO} + \text{H}_2\text{O}$]

※2016年10月にキルンを中心とした増産設備を導入

世界初「透明・大型セラミックス」の開発に成功

使用用途例

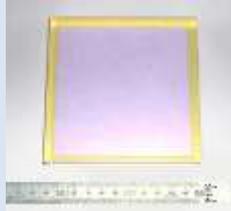
セラミックス



レーザー加工機、レーザーセンサー、シンチレーターなど

レーザー核融合発電（慣性核融合発電）

レーザーで水素の核融合反応を起こさせて、エネルギーを取り出す発電システム。
この研究開発は、当社のYAGセラミックスを使用



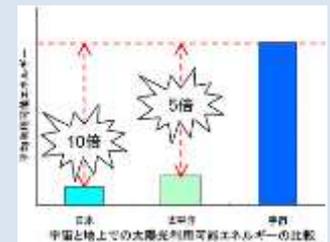
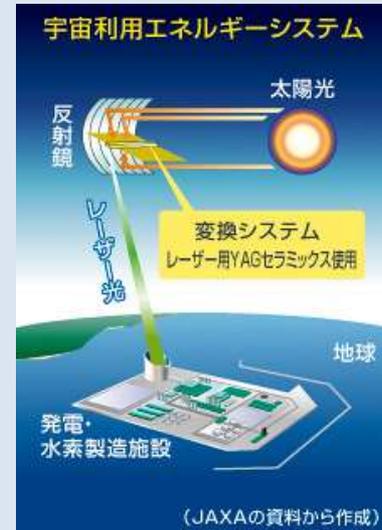
大出力レーザー用
大型YAGセラミックス



大阪大学 レザ-科学研究所 右：ターゲットチャンバー 左：ビームライン

宇宙太陽光利用システム（SSPS）

ミラーで集光した太陽光でレーザー媒質を励起させてレーザー発振させる。
当社は、太陽光を効率よく励起させられるレーザー結晶の作製を、世界で初めて成功させた。（YAGセラミックス一部使用）



レーザー研究に関する動向

世界は超高出力(10PW)・高繰り返し(10Hz)へ
(セラミックスでしか到達できない領域へ)

世界の開発状況

◆ 日本

大阪大学のレーザー科学研究所や国内メーカー数社などが、国家プロジェクト(内閣府、NEDO、JST)で開発。

◆ アメリカ合衆国

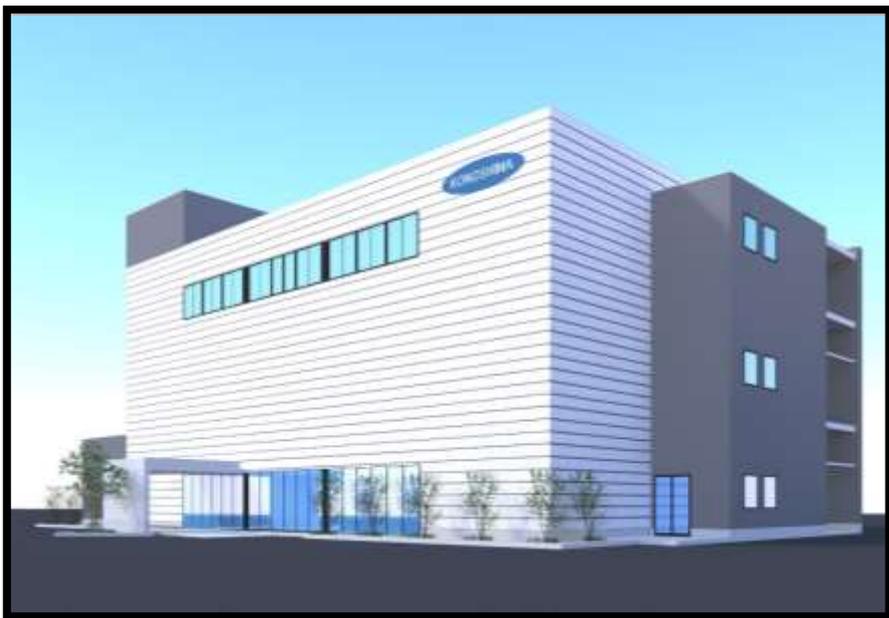
Rochester大学やLivermore研究所で開発を進め、世界を牽引。

◆ EU (欧州連合)

連合各国で資金を出し合い、Hi laseやELIと呼ばれる二大プロジェクトを展開。
世界初の100J級セラミックレーザーを開発。大出力レーザー研究の牽引役となりつつある。

研究内容

物理学・量子学(フォトン・プラズマ等)の解明、MRI、レーザー核融合発電など



(外観イメージ図)



《主旨》

神島化学は、これまでの100年をその技術力を根底に発展しこの先も独自の技術開発を行う
これら技術力を培うベースとして100周年を記念しテクニカルセンターを建設

《方針・コンセプト》

- ① 市場要求対応
- ② 独自技術開発
- ③ 人材教育

名 称	テクニカルセンター
総投資額	約10億8千万円
完成予定	2018年4月頃
建設地	香川県三豊市詫間町（第2工場）
延床面積	技術棟（3階建て）約2,400㎡ 試験場棟（1階建て）約2,000㎡
従業員	46名

地球の未来のために

神島化学ではECOで社会に貢献しています。

建築現場での建材ゴミの軽減に

工場での建材プレカット化を推進しています。
もちろん、カット端材は全てリサイクルしています。

リサイクル原料の使用

神島化学の建材は3種類のリサイクル原料を使用しており、
その割合は50%にもなります。

パレット・緩衝材のリサイクル使用

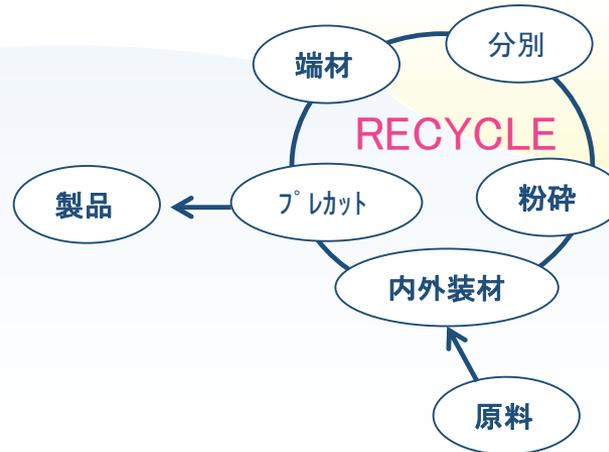
出荷したパレット・緩衝材は極力回収し、点検・補修を行った上で再使用しています。

住宅のメンテナンス費用を削減する建築材料

高耐久建材製品の開発に力を入れて、メンテナンス費用と回数の削減に一役買っています。

省エネ施工の建築材料

簡単取り付けの金具施工建材で建築現場での省エネに努めています。





©2017 Konoshima Chemical Co., Ltd.



100年の歩み、100年の挑戦